

平成30年3月に策定した小牧市地域公共交通網形成計画において、こまき巡回バスの役割や基本的な考え方、実施する事業などについて位置付けており、今回の再編との関係性を整理します。

小牧市地域公共交通網形成計画

(1) 〈施策1〉公共交通ネットワークの構築

①基本的な考え方

1) 公共交通の役割に応じた分類

生活交通軸（バス）	地域の特性に応じて各居住地と小牧市内の拠点をつ結び、小牧市内の拠点へのアクセス利便性向上と中心拠点内のモビリティの向上を図る。
隣接市町コミュニティバス	小牧市内を運行する公共交通と連携し、本市と隣接市町間の移動ニーズへの対応を図る。

2) 交通サービス確保の考え方

こまき巡回バス	<ul style="list-style-type: none"> 南北鉄道軸や東西公共交通軸（バス）、都市間連絡軸（バス・高速バス）との乗り継ぎ利便性の確保に留意したダイヤ設定とする。 市民の買物や通院での利用を考慮した運行時間帯を設定する。 観光利用や商業施設利用を考慮するとともに道路の混雑状況に配慮したダイヤを設定する。
幹線系路線	<ul style="list-style-type: none"> 人口集中地区を通り、各居住地から小牧市内の拠点や公共施設へのアクセス利便性の確保や、中心拠点におけるモビリティの向上を支援することができるサービス水準とする。 沿線地域のニーズに応じ、日10本以上（平日）の運行頻度を確保する。 東西公共交通軸（バス）や都市間連絡軸（バス）との競合の回避に留意したルート及びダイヤ設定とする。
支線系路線	<ul style="list-style-type: none"> 交通空白地域及び交通不便地域をきめ細かく通り、各居住地から小牧市内の拠点へのアクセス利便性の確保に留意したサービス水準とする。 沿線地域のニーズに応じた運行頻度を確保する。

②実施する事業

事業1-1 路線の役割や交通サービス確保の考え方に基づく運行の実施
多様な公共交通のニーズに対応するため、路線の役割や交通サービス確保の考え方に基づくサービス水準での運行を実施する。

事業1-2 こまき巡回バスの平日用、土日祝日用ダイヤの設定
定時性確保のため、道路の混雑状況に配慮した平日用、土日祝日用ダイヤを設定する。

事業1-3 各鉄道駅へのアクセス利便性の向上
広域移動ニーズに対応するため、鉄道駅へのアクセス利便性の向上に向けたルートの見直しや鉄道との乗り継ぎに考慮したダイヤを設定する。

事業1-4 隣接市町コミュニティバスとの連携した運行
小牧市内と隣接市町間の移動ニーズに対応するため、路線バスやこまき巡回バスと隣接市町コミュニティバスが連携し合うルートやダイヤを設定する。

今回再編内容

路線は拠点を中心とした放射状路線とし、各居住地と拠点のアクセス利便性向上を図りました。また、隣接市町（犬山市、大口町、豊山町）とバス停で接続し、広域移動ニーズへの対応を図りました。

こまき巡回バス	<ul style="list-style-type: none"> 市民病院への通院のため市内全路線から、遅くとも9時半までに到着できるようダイヤを設定しました。 運転手への聞き取りや、バスロケーションシステムの現在の運行時刻データをもとに、道路の混雑状況に配慮したダイヤを設定しました。
幹線系路線	<ul style="list-style-type: none"> 人口集中地区を通り、各居住地から小牧市内の拠点や公共施設へのアクセス利便性の確保するようルートを設定しました。また、小牧駅～市民病院～市役所間をピストン運行することで、中心拠点におけるモビリティの向上を図りました。 日10本以上（平日）の運行頻度を確保しました。 現行ルートにおいて、民間路線バスである間内岩倉線と並行していた区間を一部分割（4市之久田線・H6多気線）し、競合の回避に留意しました。
支線系路線	交通空白地域及び交通不便地域をきめ細かく通り、各居住地から小牧市民病院、味岡駅、桃花台センターを中心とした放射状のルートを設定しました。

上記の交通サービス確保の考え方のおり、ルート及びダイヤを設定しました。

平日用、土日祝日用ダイヤを設定しました。

幹線系路線については、小牧駅、または味岡駅を中心とした放射状のルートとし、鉄道駅へのアクセス利便性の向上を図ったほか、1小牧駅市役所線においては、15分間隔としたことで、乗り継ぎの利便性の向上を図りました。

隣接市町である犬山市、大口町、豊山町とバス停で接続し、一部の便において乗り継ぎが可能となるようダイヤを設定しました。また、春日井市内においても、将来的な接続を見据えバス停を設置しました。

小牧市地域公共交通網形成計画

(2) 〈施策2〉交通結節機能の強化

①基本的な考え方

1) 交通結節点の設定

〈中心拠点（小牧駅周辺から市役所・小牧山周辺の一帯）〉	・小牧駅、市役所、市民病院
〈地域拠点（味岡駅周辺）〉	・味岡駅
〈地域拠点（桃花台センター地区）〉	・桃花台センター、中央道桃花台
〈地域拠点（藤島地区）〉	・藤島

②実施する事業

事業2-1 小牧市民病院、桃花台センター及び中央道桃花台バス停前ロータリーのバス停の集約化
乗り継ぎをより円滑にするため、小牧市民病院、桃花台センター、中央道桃花台バス停前ロータリーについて、交通結節点として乗り入れ路線のバス停位置及びルートを変更し、集約化する。

事業2-2 交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定
乗り継ぎをより円滑にするため、各交通結節点において、路線間の乗り継ぎに考慮したダイヤを設定する。

今回再編内容

小牧駅から市役所・小牧山周辺の一帯については、1小牧駅市役所線を設定したほか、小牧駅には8路線が乗り入れており、中心拠点のアクセス向上を図りました。また、地域拠点である味岡駅は7路線、桃花台センターは7路線が乗り入れ、藤島バス停については、2路線が乗り入れており、地域拠点の利便性向上を図りました。

小牧市民病院については、新病院建設に伴い整備された公共交通専用ロータリーに11路線が乗り入れ、小牧市民病院へのアクセス利便性や、乗り継ぎの利便性向上を図りました。

結節点においては、午前中は中心拠点方向への乗継を考慮し、午後は中心拠点から各地区への乗継を考慮し設定しました。